

Mitakaでのアイヌ星名実装の試み (補足資料)

アジアの星物語プロジェクト
札幌市青少年科学館 天文指導員 (ボランティア)
星空案内人 (星のソムリエ®) 山田 将俊

○Mitakaについて

Mitaka (<https://4d2u.nao.ac.jp/mitaka/>) は、国立天文台が中心になって進めてきた「4次元デジタル宇宙プロジェクト」(独立行政法人科学技術振興機構計算科学技術活用型特定研究開発推進事業 (ACT-JST)「4次元デジタル宇宙データの構築とその応用」(研究代表者:海部宣男、2001年-2004年)、文部科学省科学技術振興調整費産学官共同研究の効果的な推進プログラムにおける実施課題「4次元デジタル宇宙映像配給システムの構築」(研究代表者:観山正見、2004年-2007年))において開発をしたソフトウェアです。現在も開発者により開発が続けられています。

天文学の様々な観測データや理論的モデルを使って、地球から宇宙の大規模構造までの非常に幅広い空間スケールを自由に移動して、宇宙の様々な構造や天体の位置を見ることができます。

国立天文台の4次元デジタル宇宙シアターや移動式シアターでの上映用ソフトウェアとして使用されています。(Mitaka 説明書 (ver.1.7.4a) より引用)

・アイヌ星名実装の経緯

Mitaka Ver.1.7.0で北斗七星や夏の大三角といったアステリズムを表示する機能が実装されました。このアステリズムはテキストエディタで編集可能な定義ファイル (json形式) で定義されており、自由にカスタマイズが可能です。

八十八星座とは別に、既存のアステリズムを置き換えることでまったく別の星座 (星座線) を表示することができるのではないかと考え、Mitakaに実装されているコマンド実行機能と組み合わせて「アイヌ民族の星文化」を表示するスクリプトを作成しました。

アイヌの星名に関する伝承として、八十八星座でいうわし座の三ツ星 (α 星アルマイルとその両脇の β 星アルシャイン、 γ 星タラゼド)を「二人の兄弟が老婆を船に乗せる姿」と見ていることは学生時代からなんとなく知っていましたが、アイヌ語でどう読んでいたかは知らなかったのです。

末岡外美夫氏が執筆した2冊の本 (『アイヌの星』、『人間達 (アイヌタリ) の見た星座と伝承』) が地元の図書館に所蔵されていることはすぐにわかりましたが、『人間達 (アイヌタリ) の見た星座と伝承』については館内閲覧のみで貸し出しはしていませんでした。さらに、コロナ禍の緊急事態宣言中のため図書館は閉館しており、館内閲覧もできませんでした。

そこで、天文指導員 (ボランティア) として活動している札幌市青少年科学館に本について問い合わせたところ、館の蔵書 (一般への貸し出しは不可) に『人間達 (アイヌタリ) の見た星座と伝承』があることがわかり、借りることができました。その後、図書館から借りた『アイヌの星』と合わせてアイヌの人々が見た星文化の内容をまとめました。また、末岡氏の著書以外についても図書館のレファレンスサービスや博物館、アイヌ民族関連施設等に問い合わせを行い、情報を収集しました。

○アイヌ語表記の見直し

末岡氏は各地のアイヌ民族の古老から聞き取った星の話や伝承をまとめ、アイヌ語から日本語 (和人の言葉) に置き換えています。末岡氏はアイヌ語の専門家ではないため、アイヌ語の聞き取りや訳については近年の研究結果と照らし合わせて検証する必要があると考えています。

そこで、Mitaka上で表示するにあたり、可能な限り国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブで調査を行いました。その方法として、末岡氏が収集した星名の各単語単位でアーカイブを検索し、単語ごとに読みと意味を調べ、カナ表記と英字表記の見直しを行いました。また、非公式ながらアイヌ文化研究者の方々から助言をいただき、見直しを行いました。

その一覧を「Mitaka上で実装した星文化、表記見直し内容及び地域分類リスト」にまとめています。

○星文化の地域分類

末岡氏は道内各地を訪問し、星文化の収集を行いました。北海道は広大であり、気候にも大きな違いがあります。その気候や風土を反映した地域差があるため、ひとくくりに「アイヌの人々は～」と表現すると、あたかもアイヌ民族全体がそう呼んでいたと誤解される危険性があります。

少なくとも複数の事例がある事柄については、「この地域では○○と呼ばれているが、他の地域では別の呼び方もされている」と表現することが望ましいと考えます。

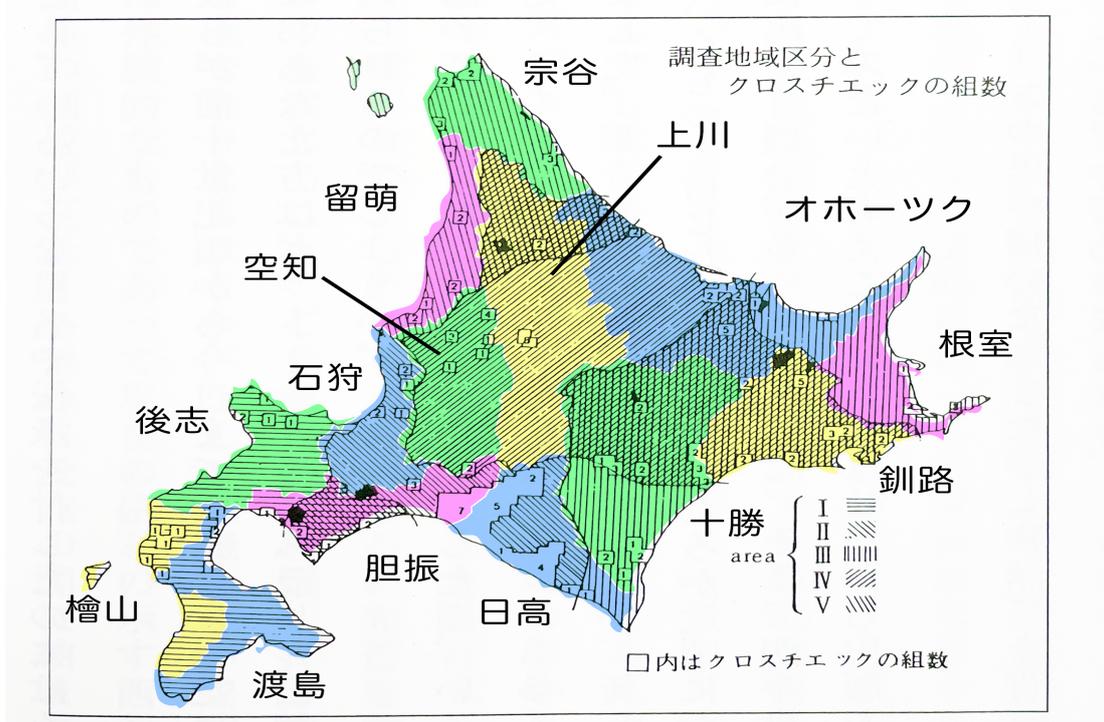
末岡氏が著書の中で分類したIからVの地域は、その地域性を反映していますが、一般の人々にはわかりにくいかもしれません。そこで、北海道の総合振興局・振興局 (かつて支庁と呼ばれていたが、平成22年 (2010年) に再編された) に当てはめて分類しました。

複数の総合振興局・振興局にまたがる地域については、北部や西部といったおおよその地域で分類しています。また、I~Vの分類ではなく「中・東部」や「中・北部の山岳地方」「名寄以北」といった記載がされ

ア。また、アイヌ文化圏の北海道内のおおよその位置から判断してⅠ～Ⅴの分類に当てはめています。

この分類についても「Mitaka上で実装した星文化、表記見直し内容及び地域分類リスト」にまとめています。

「人間達（アイヌタリ）のみた星座と伝承」の[調査地域区分セクロスチェックの組数]に総合振興局・振興局を当てはめた地図



○これからの展望

Mitakaのスク립トはインターネット上で公開しています。使用した感想やご意見、表記の指摘などがありましたら、お寄せください。参考にさせていただきます。

Mitakaスク립ト公開先

Mitakaでアイヌの人々が見た星座を表示する

> https://note.com/trapezium_orion/n/ne9f786ee38a3



Mitakaでアイヌの人々が見た星空案内

> https://note.com/trapezium_orion/n/na5a74a2ec9af



Mitakaスク립ト公開先

Mitakaでアイヌの人々が見た星空案内 (YouTube動画)

> https://www.youtube.com/playlist?list=PLUwZZg96Kf9HGPTdTtedGaw_Kg14eUQ02



将来的には、『アイヌの星』や『人間達 (アイヌタリ) の見た星座と伝承』で描かれた星座絵を追加し、他の天文シミュレーターソフトでもアイヌの人々が見た星空を表示できるようにしたいと考えています。夜空に広がるアイヌの星座が、現代の天文愛好家や未来の子供たちに語りかけ、文化と自然の調和を感じてもらえるような体験を提供できることを夢見ています。

○参考文献

- ・ アイヌの星 / 末岡外美夫 著 / 出版者 旭川:旭川振興公社 / 1979.10
- ・ 人間達(アイヌタリ)のみた星座と伝承 / 末岡外美夫 著 / 出版者 末岡由喜江 / 2009.1

- ・ 日本の星「星の方言集」 / 野尻抱影 著 / 出版社 中公文庫BIBLIO / 2002.8

- ・ アイヌ 歴史と民俗 / 更科 源蔵 著 / 出版社 社会思想社 / 1968.5
- ・ アイヌ語資料叢書 金田一京助解説 成田修一撰 藻汐草 / 上原 熊次郎 原著 / 出版社 国書刊行会 / 1972.8

- ・ 北海道あいぬ方言語彙集成 / 吉田巖 著 / 出版社 小学館 / 1989.5
- ・ 黒い太陽のおはなし 日食の科学と神話 / 寮美千子 著 / 出版社 小学館 / 2009.7

- ・ 更科源蔵アイヌ関係著作集 2 アイヌ民話集 / 更科源蔵 著 / 出版社 みやま書房 / 1981.6
- ・ 更科源蔵アイヌ関係著作集 5 アイヌの民俗 下 / 更科源蔵 著 / 出版社 みやま書房 / 1982.4
- ・ アイヌ史資料集 第2期 吉田巖著作編(2) 第2巻の2 「人類学雑誌」篇 下 / 吉田巖 著 / 出版者 札幌:北海道出版企画センター / 1984.1
- ・ アイヌ無形民俗文化財記録刊行シリーズ 4 アイヌのくらしと言葉 2 / 北海道教育庁生涯学習部文化課 編 / 出版者 北海道教育委員会 / 1991.3
- ・ アイヌ無形民俗文化財記録刊行シリーズ 12 アイヌのくらしと言葉 6 / 北海道教育庁生涯学習部文化課 編 / 出版者 北海道教育委員会 / 1993.3
- ・ アイヌ無形民俗文化財記録刊行シリーズ 14 アイヌのくらしと言葉 7 / 北海道教育庁生涯学習部文化課 編 / 出版者 北海道教育委員会 / 2001.3
- ・ アイヌの暮らしと伝承 / ジョン・パチラー (著), 小松 哲郎 (翻訳) / 出版者 札幌:北海道出版企画センター / 1999.11
- ・ 日本昔話通観 第1巻 北海道(アイヌ民族) / 稲田 浩二 責任編集、小沢 俊夫 責任編集 / 同朋舎出版 / 1989.12

- ・ 松前と菅江真澄 / 内田 武志 著、菅江 真澄 伝等 / 北方書院 / 1949.4

- ・ 星と伝説 / 中公文庫 BIBLIO / 野尻 抱影 著 / 中央公論新社 / 2003.2
- ・ 星の歳時記 岩内歳時記 第2集 / 武田みさ子 著 / 北旺社 / 1974.10

- ・ アイヌ語沙流方言辞典 / 田村 すず子 著 / 出版者 草風館 / 1996.9
- ・ 萱野茂のアイヌ語辞典 / 萱野 茂 著 / 三省堂 / 2002.10

- ・ アイヌ民俗文化財調査報告書 (昭和56,60,63,平成元,3,5,7,10年度)
- ・ 北海道立アイヌ民族文化研究センター調査研究報告書3 アイヌ語十勝方言の基礎語彙集
-本別町・沢井トメノのアイヌ語-

- ・ 季刊河川レビュー 通巻81号 / 東京評論社 / 1992.11
- ・ 星の神話伝説集成 / 野尻抱影著 / 恒星社 / 1954.9
抱影随筆選集 第1(星と東西民族) / 野尻抱影著 / 恒星社 / 1957.1

- ・ アイヌ文化紹介小冊子 (ポン カンピソ シ) / 北海道立アイヌ民族文化研究センター
- ・ 日本昔話資料データベース: 稲田コレクション / 国立民族学博物館
- ・ じどうしょ | アイヌ民族文化財団 / アイヌ民族文化財団
星になったサマイェクル
群れ星になった乙女たち

- ・ 国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブ / 国立アイヌ民族博物館、公益財団法人 アイヌ民族文化財団
- ・ アイヌ口承文芸を見る / 平取町立二風谷アイヌ文化博物館
- ・ アイヌ語小文字発音講座 / 北海道新聞

- ・ 北海道・道教育庁によるアイヌ文化の調査報告書 / 北海道立アイヌ民族文化研究センター
- ・ アイヌ人によるアイヌ語表記への取り組み / 中川裕 / 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 / 2006.3

- ・ アイヌ民族や琉球民族の星座や星名について / 川崎市青少年科学館 / 紀要25号 (2015年3月31日発行)
- ・ 全編生解説プラネタリウム「ノチウ」web連載@ロクトリポート / 多摩六都科学館

- ・ アイヌ神謡集・おもしろそうし | おはなしのくにクラシック / NHK for School
- ・ 「スターゲイザー ~受け継がれる星の記憶~」 / コズミック フロント - NHK / 2021.12.23放送
- ・ 星降る夜はこの丘で~夜空に浮かぶカムイたちの物語~ / NHK ラジオ / 2022.3.30放送
- ・ 「星降る夜に~アイヌの星物語~」 / 北海道道 - NHK / 2022.4.24放送
- ・ 名著123「アイヌ神謡集」知里幸恵 (全4回) / 100分de名著 - NHK / 2022.9.5放送